



龍門滝



広報

かじき

題字 宇都宮町長

人口・世帯の動き

(平成5年12月1日現在)

総人口 23,447人(△33)	出生 18人
男 10,952人(△20)	死亡 26人
女 12,495人(△13)	転入 51人
世帯数 8,486 (△4)	転出 76人

●()内は前月との比較●

新年を迎えて

今年^{いぬ}は戌年――。

「初日の出」は、さぞ犬も喜ぶだろうと思いきや、犬にとっては日の出も森羅万象の

ことで、毎朝の飯の合図ではない。この干支自体人が創り出した人間界のもので、そのご利益は人間だけが感じるものらしい。

昔、生類憐れみの法が發布され、江戸庶民を泣かせたと記録にあるが、家内で座布団

に座らされ、きれいな着物で身を飾られたりして自由を束縛されたお犬様は、決して幸せではなかったろう。

ということ、戌年のあなた、今年はおあなたの出番。外に飛び出し、社会で大いに暴れてみてはいかがが……。



あけまして
おめでとうございます

犬の散歩は
シャベルを持って

私が主役です。大事にしてネ……。ワン

平成6年

1

月号

今月のページ

☆新年のごあいさつ……2～3	☆議会報告・かじ
っガラス……4	☆消防出初式……5
☆まちの話……6～7	☆北海道から優良乳用牛を導入……8
☆PKOに参加して……9	☆親子読書会紹介……
10	☆椋鳩十の本・加治木文化財ウォッチング……
11	☆おしらせ……12

平成六年

加治木町長

宇都宮

明人



10号線が広く きれいに



川原住宅が完成

今年は国連の
「家庭の日」です
家庭とは、家族とは
何か考えてみましょう



みなさん、明けましておめでとうございます。

本年もみなさんと一緒に新しい年を迎えることができ、まことに喜ばしい次第であります。

ご承知のとおり、昨年は集中豪雨や台風の災害が重なった波乱な

一年でありましたが、町民のみなさんのご協力によりまして、その復旧は予想以上の成果をあげることができましたことを、心から感謝申し上げます。

さて、本年は昨年に引き続き、国外はもちろん、特に国内においては、経済不況の影響が各界各層にわたり浸透しつつあり、先行き不透明な判断のつきにくい状況にあります。

戦後五十年——わが国は敗戦の焼跡から立ち上がり、平和憲法の下に世界自由主義国家の一員として、また自由貿易体制の恩恵をもつとも受け、世界の最たる成長国として歩いてまいりました。

その結果、生活の豊かさに比べ心の豊かさを失い、環境破壊などが進行し、かつて考えられなかったような公害や病気などが、生活の便利さの進行と平行するような形で発生してまいりました。

あと数年で二十一世紀であります。戦後五十年の節目に過去を振り返り、ちよつと立ち止まって瞑想してみたいかがでしょうか。

幸い今年には、国連の家庭の日であります。家庭とは何か、家族とは何か、家庭教育や地域との連帯感など広義のありとあらゆるものを含め、考えてみる必要があるやに思われてなりません。

消費は美德の名のもとに、際限なく続く欲望、ぜいたく、飽食、使い捨てなど、数えればきりがな消費文化を生み出してしまいました。

またそれとともに、子どもたちの遊びも忘れられつつあります。手作りの凧（たこ）・竹馬・竹トンボ、小川での小ブナ釣り、また毎年正月五日に行われる老人会によるハマ投げ大会（これは元々子供供の遊びです）など……いずれも過去のものになりつつあり、子供たちから自然とたわむれる遊び心が消えてしまい、今考えるときびしい限りで、ぬくもりや創造性に富んだ昔の手作りの味が忘れがたきものの一つになってきました。

人類愛、心の豊かさ、心のやさしさ、喜怒哀楽、協調性、創造性、物を大事にする心、質素、忍耐、耐乏、礼儀作法など、これらはすべて家庭教育の中でつちかわれるものではないでしょうか。

国連の「家庭デー」にちなみ、町民みなで、「家庭とは何か」を今一度考えてみたいかがでしょうか……。

最後になりましたが、今年こそは災害もなく、町民のみなさんが健康で文化的な生活をおくれる一年でありますよう、心から祈念申し上げます。





豪雨に泣かされた

5年をふり返って



加治木町議会議長
溝口久男

平成六年を迎え、国内外ともに大きな変革の時期にきておりますが、地方行政におきましても過疎過密、人口構成の高齢化、さらに

本年こそは、このような災害のない平穏な年でありたいと願うものです。

平成六年を迎え、国内外ともに大きな変革の時期にきておりますが、地方行政におきましても過疎過密、人口構成の高齢化、さらに

一日も早い復興をと、さつそく的確な対応のもと措置を講じ、その復旧に鋭意努力しているところでございます。

また昨年は、予想だになかった異常気象により長雨、集中豪雨台風などで度重なる災害を被り、日常生活に大きな影響を及ぼしました。

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には健康で希望に満ちた初春を迎えられたこととお喜び申し上げますとともに、年頭にあたり一言ごあいさつを申し上げたいと存じます。

昨年、本町も皆様ご承知のとおり、新年度では待望の「文化会館」建設が予定され、皆様の深いご理解とご協力を賜り、議会としましては慎重に調査、審議を重ね、適切に対応してまいりたいと存じます。

今後とも、皆様方の負託に応えられるよう議員一同、心も新たに議会活動に専念し、町民の福祉の向上と町勢発展に全力投球いたす所存でございますので、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様の限らないご多幸とご健勝を祈念申し上げます。ごあいさついたします。

は高度化する情報化など、新たな事態に日々直面し、まさにその真価が問われる時代といっても過言ではありません。

さて、「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」といい、正月ほど希望に満ちた、進歩向上に燃える時期はございません。新年とは、過去の諸々の事がらに区切りをつけ、心機一転再出発する機会と勇気を与えてくれるものではないかと思ひます。



滝サミット大成功

1日の計は朝にあり

1年の計は元旦にあり

心機一転

再出発しましょう



議会報告〔第四回定例会〕

補正予算を可決

六億四百六十四万六千円

第四回町議会定例会は十二月十三日から二十四日までの十二日間の会期で開かれ、一般会計補正予算案六億四百六十四万六千円などの議案八件を可決し、意見や陳情などが審議されました。

予算総額は

七十億九千七百七十九万円に

災害復旧費に

五億五千万円余りを

一般補正予算は、六億四百六十四万六千円を追加し、予算総額は七十億九千七百七十九万円となりました。



本 会 議

主なものは、福祉費の老人温泉保養券補助費、保育所扶助費をはじめ、中野線A、明神東線Aなどの工事請負費、治山事業の林地崩壊防止工事、加中吹奏楽部や錦江小金管バンドの九州大会・全国大会出場補助費などです。

また、今回の風水害を教訓としてその災害対策用に、無線基地局の設置や無線機の購入費も計上されました。

なかでも特筆すべきものは、昨年夏の災害復旧費で、その総額は五億五千万を上回り、補正予算の九割以上を占めています。完全復興になるまでには、さらに費用と日時がかかりそうです。



▼中央公民

館の建設は町民の長年の夢であったが、それがようやく現実化し、それも文化会館として十月からすでに実設計に入っている。

▼総事業費がおよそ四十二億円にものぼることもあり、新聞報道で賛否両論があると取りあげられたが、それは教育と文化を誇る教養ある加治木町民としては当然のことである。

その規模や設備の概要が、広報かじき特集号を通じて、広く町民に浸透していくのに多少の間を必要とするが、その間、建物の規模や設備などの詳細がわからないため、町民はその四十二億という数字だけにこだわるのは致し方ないところだ。

▼昨年末に文化会館の特集号が発行された。町民はその規模

人が人をつくる

これこそ文化人の証である

やすばらしい設備を確認したうえ、町行政が建物本体に二十八億円を投じる理由を知ることができはすである。

まちづくりは、何といっても人が主役である。その人づくりを金をつぎ込むのをためらうていては、いいまちはできない。人づくりこそ、最優先課題なのである。

この文化会館建設には、百年先を見越したソフト面、つまり感性豊かな、魅力ある人づくりを中心とした、文化人の育成という重要な要素が組み込まれている。これは現在のわれわれに課せられた義務であり、後世に託す大きな夢と仕事でもある。そのためには、建物自体も百年後に耐用しうる立派なものが必要である。

▼温故知新という。新しい文化といっても、突如として開花するものではない。そこには、これまでの歴史と現在があり、それを土台にはじめて文化が咲きほこるのである。

百年後の新しい文化の根底には、われわれの生きる平成の文化が脈々と流れていくのだ。そう考えると、四十二億円の投資効果は、現世で安易に結果が出るものではない。その答えは百年後の子孫に託すべきであり、きつといつか、彼らから感謝される日がくるに違いない。

新しい文化の創造を育む、文化の殿堂として期待したい。人が人をつくる。これこそ、文化人の証であると言っても過言ではない。

所得税の 確定申告は 3月15日までに

平成5年分所得税、消費税(個人分)、贈与税などの納税相談は

加治木税務署へ

3月8日～15日まで

申告は正しく早めに!!



Town news

●まちの話題



ありがとうございます

竜門小でピアノ開き

猪俣正清さん（竜門小卒・七十歳）が母校にグランドピアノ（百二十万円相当）を寄贈され十二月十八日、地元の人がおおぜい参加して竜門小体育館でピアノ開きが行われました。

猪俣さんは竜門小を卒業後、調理師をめざして山形屋でその腕をみがきながら、苦しい修行時代を乗り越え、今では専務取締役として活躍。母校に何か恩返しをとピアノを寄贈されたものです。

ピアノ開きに先立ち、協校長先生が猪俣さんに感謝状と記念品を贈り、「ピアノはもちろん、子ども



サッカーの応援歌で

アンコールにこたえて

加治木中学校では一月九日、加中吹奏楽部が昨年八月熊本県で開催された九州吹奏楽コンクール大

会に初出場したのを祝い、その記念演奏会が開かれました。演奏会では、OBも参加して三

九州大会初出場記念演奏大会

加中吹奏楽部

部に分け独奏やアレンジ曲などを順次に披露。その演奏を鑑賞しようという詰めかけた五百人あまりの聴衆は、佐多郁乃先生指揮するメリハリのあふ、それでいて情緒あふれるすばらしい演奏を心ゆくまで堪能していました。

ラスト曲が演奏されると、余韻覚めやらぬ会場から沸き立つようなアンコールの波が渦巻き、部員らはそのうれしい声援にこたえ、ふたたび涼やかな笛の音を奏でました。

九州大会出場を機に、吹奏楽部の一層の活躍を期待します。

猪俣正清さんが グランドピアノを寄贈

もたちにとっては、猪俣さんの苦しいことがあってもそれに負けずに突き進んできた、という人生の教えが何よりの贈り物です」とあいさつしました。

また、声楽家として有名な池畑ミチ子さんも招待されましたが、池畑さんのピアノ伴奏者で知られる猪俣裕子さんは、実は正清さんの愛娘。裕子さんは親子そろっての舞台にいささか照れ気味でしたが、ピアノ独奏や池畑さんの伴奏にも一段と熱がこもっているようで、それを聞き入る猪俣ご夫妻も満足げでした。



池畑ミチ子さんも楽しそうに



会場いっぱいひびく



良いですねー

勉強の成果を見て



一年生は元気そのもの

「まちをきれいにしよう」と、柁城小学校では十二月二十二日、町内の道路や川沿いのチリ拾いに汗を流しました。

この日は、あいにくの北風でしたが、元気な一年生には寒さも何のその。チリを見つけると、みんなで押しかけていました。

この日の区域は、下新道、役場前通り、網掛川公園、物産館前、網掛川、日本山川で、それぞれ学年別に区分けして「生き生きクリーン活動」を展開し、子どもたちは働く喜びや、美化意識の高揚、郷土愛などを学んでいました。

まちをきれいにしよう



川にもチリが…

柁城小学校

生涯学習 県民大学生

毎年加治木高校で行われている「生涯学習県民大学」では十二月十二日から十八日の一週間、勉強の成果を見てもらおうと「ギャラリー・シルクロード」で展示会を開催しました。

会場には九人の生徒と、講師（加治木高校教師二人）の作品二十二点が展示されましたが、生徒は一年から三年の経験者ということもあってか、自分の作品をじっくりと見つめる観衆の目が恐いらしく、生徒の石川敬次さんは「ひっこめたくなりす」と恥ずかしそうに話していました。

軽妙なマンダリンの旋律

ふるさとファミリー音楽会

年忘れ恒例のふるさとファミリー音楽会は十二月十一日、福祉センターで行われました。

第一部は、加治木中学校吹奏楽部と竜門小学校がかねて練習の成果を発表した後、コール・加治木が清らかな歌声を会場に響かせていました。

第二部に入ると舞台は様相を一変、招待された鹿児島マザーズ・マンダリン・アンサンブルのメンバーがざらりと勢ぞろい。演奏がはじまると聴衆は、マンダリンの軽妙で一種独特の旋律に引き込まれていました。



たのしいですね



北海道から 優良乳用牛を導入

日木山の橋口弘さん



とってもうれしそうな橋口さん

日木山で酪農を営まれている橋口弘さんが、このほど北海道から優良乳用牛を導入しました。これは、県の受精卵移植技術利用促進事業を受けて導入したもので、先進地の優良乳用牛を対象に受精卵移植技術を行い、高泌乳牛の造成を図ろうとするものです。橋口さんは三十年の酪農経営を誇るベテランですが、厳しい酪農経営情勢の中、「また新たなファイトが湧いてきます。これからがんばっていききたいと思います」と意気込んでいました。

岩重俊一さん 愛下ひとみさん

主任児童委員に委嘱

新しく設置された主任児童委員に、現在チャレンジャー21として青少年の健全育成に活躍中の岩重俊一さんと愛下ひとみさんが推薦され一月五日、その委嘱状が宇都宮町長から手渡されました。

加治木町の民生委員児童委員は現在三十人の定員ですが、この主任児童委員は、児童福祉に関することを専門的に行うもので、限ら

れた担当地区はありません。

町民のみなさん、青少年のことで相談したいことや、気づいた点がありましたら主任児童委員にお気軽にお問い合わせください。

(任期は三年間)

岩重俊一さん 本町二〇八

62-2014

愛下ひとみさん

62-2281



よろしくお願いします



おいしそう



安全利用をめざして講義

自転車安全利用 モデル校を宣言

加治木中学校

加治木中学校は、昨年五月から自転車通学を公認していますが、その安全利用を願う十二月六日、「自転車安全利用モデル校」を宣言しました。

これは、三ヶ以遠のところを対象としたもので、実際には弥勒、明神、須崎、豊町の四地区。この地区からは遠いところは四・五キロもあるため、中学校統合から自転車通学を認めてもらおうとする運動を展開していましたが、その運動が実って昨年一月から試行、五月から正式公認となりました。モデル校を宣言した後、弥勒の

ふれあい温泉で百七十人あまりが参加して、四地区の父母で結成している「自転車通学安全対策協議会」主催の自転車安全利用推進大会が開催されました。

この自転車通学安全対策協議会（東三郎会長）は、子どもらの自転車通学の安全利用のため結成されたもので、規約をつくり安全対策活動を積極的に推進。現在利用者は六十四人ですが、毎月五のつく日の朝は街頭指導、各学期毎に安全教室、機会をつくっては業者による自転車の点検を行ったりしています。

手打ちソバをふるまう

国ノ回自治会有志

垂ノ口自治会の有志が十二月五日、「かねてお世話になっていた地域のみなさんに御馳走しよう」と公民館で二百杯のソバを打ち、訪れた方々にふるまいました。

この日は、松田逸郎さんや有村正三さんら十一人の有志が早朝から繰り出し、自分たちで材料費を出し合い、昨年覚えた腕を披露していききましたが、あまり自信のない手つきながらも、昼ごろにはザ

ルはソバの山。午後になると、ブーンと香る出し汁のいい匂いに釣られ、手にハシとお碗を持った地域の方々が続々と押しかけ「これはうまい」と、お碗がザルの上をひっきりなしに舞っていました。

これは昨年からはじめたものですが、みんながおいしく食べる風景を目にして「また来年もがんばろう」と有志らは目を和ませています。

梅木智子さんから四十二人に

献血功労章を授与

このほど、愛の献血運動にご協力して下さった町内四十二人の方に、鹿児島県赤十字血液センターから金色有功章（五十回以上・二十二人）と銀色有功章（三十回以上・二十人）の献血功労章がそれぞれ贈られました。

かねてから献血事業の推進については、事業所や一般住民の方々のあたたかいご協力をいただいています。深く感謝申し上げます。

さて現在、鹿児島県では毎日五百人以上の献血協力者を必要としています。あなたの献血で尊い命が救われるのです。みなさん、どうか献血にご協力ください。

表彰された方々。（敬称略）

〔金色有功章〕

梅木智子（下新道）▽床村信行（下新道）▽岩穴口弘行（岩穴口）▽田原則雄（岩原東）▽田原千美子（岩原東）▽松永純孝（吉原）▽岩崎京（曲田）▽勝目芳生（空港団地）▽東国麻呂（原ノ門）▽南

谷達男（高井田）▽今村良男（今町）▽増崎久志（小島）▽杉田雄一（須崎）▽今奈良明人（西江口団地）▽西ノ原郁江（西反土後）▽脇田満穂（中央）▽新名主公哉（中央）▽千葉重人（東吉原）▽濱田耕一（楠園）▽鎌田謙志（日本山団地）▽入部信男（反土黒川）▽後藤忠道（毛上）

〔銀色有功章〕

海江田勝己（蔵王団地）▽梅木智子（下新道）▽森木博和（下浜）▽出口清己（下浜）▽尻無濱清一（岩原西）▽大木洋子（吉原）▽古江澄男（吉原）▽大木兼次（吉原）▽川内国光（高井田）▽豊田文子（新富団地）▽濱田壽徳（新富団地）▽立元健治（西塩入団地）▽川上幸男（西諏訪）▽桂正俊（西諏訪）▽今村昌子（中央）▽梶丸和久（中福良後）▽櫛山涼子（田中）▽水流哲也（内原田）▽寺迫慶子（南塩入）▽今西健二（楠園）

混成チームが優勝

新春 はまなげ大会

町老人クラブの新春恒例「はまなげ大会」が一月五日、役場グラウンドで開催されました。

成績（敬称略）

団体戦 優勝：混成チーム▽二位

：役場チーム▽三位：東元チーム
個人戦（セコ打ち）

優勝：井上福井さん

76

二位：蘭田親治さん

67

三位：中元邦利さん

66



むずかしそう...



ごくろうさまでした

P KOに参加して

中村信也さんが 加治木町を表敬訪問

P KOの停戦監視要員として、昨年三月から九月までカンボジアに赴任した中村信也さん（岩原西出身・三十一歳）が一月五日、加治木町を表敬訪問しました。

中村さんは現在、富士山麓の富士学校の普通科部戦術教官として活躍中で、階級は肩に三つの星がきらめく一等陸尉（昔の大尉）。カンボジアのタイ国境に派遣された中村さんは、ホルボト派などの四派のひしめく戦陣の真っ直中で

原住民と生活を共にし、国境に流れ込む武器弾薬や交流する人たちの監視や、各地区の戦争の状況を国連に報告するのが任務。毎夜、銃火の雨に見舞われ、時には銃撃されたこともあったそう、

「真の平和という意味を身体でかみしめました。また、選挙などというものがこんなにも大事なことであったというのをあらためて痛感しました」と感慨深げに宇都宮町長に話していました。

石ダタミがきれいな顔に

社会教育郷土史学級生

社会教育郷土史学級（伊藤敏夫学級長・生徒二十人）の方々が十二月四日、県指定文化財の竜門司坂の草取りに汗を流しました。

文化財を保存していくのは文化人としての務め——とはわかっていても、ボランティアではなかなかできることではありません。

そこで今回、郷土史学級生が自発的に「文化財を美しく守ろう」と発起したもので、会員らは作業が終わり、落葉や雑草に埋もれていた石ダタミがきれいに顔を現すと、当時の面影を今に残す歴史のたくましさに感慨深げでした。



ピカピカになりました

銀賞に永原小 銅賞に竜門小

南日本花だん
コンクール



おめでとうございます

第二十五回南日本花だんコンクールで永原小学校がみごと銀賞を獲得、また竜門小学校も銅賞に入賞し十二月九日、宇都宮町長からそれぞれ表彰状と記念品が伝達されました。

今年は豪雨と大型台風に相次いで見舞われたため、両校の子どもたちは花の手入れにさんざん苦心した様子ですが、子どもたちの花を大切にすることのやさしさに心打たれたのか、花は雨にも風にも負けずによくと成育し、この学校にも負けない花だんに仕上がっていました。

百五十チームの剣士が参加

義弘公奉賛剣道大会

第三十六回加治木町義弘公奉賛

剣道大会は十一月二十三日、町内外から百五十チームが参加して町営体育館で開催されました。

各チームの精鋭選手らは、自慢の剣を縦横にふるって、館内狭しと暴れていました。

(成績)

小学生の部

優勝：国分西小剣道A

二位：太陽剣道A

三位：興文館・寺山剣道

中学生の部

優勝：山田中A

二位：国分南中A

三位：隼人中A・志學館中等部A

高校生の部

優勝：鹿商工A

二位：鹿実A

三位：鹿実B・鹿商業A

一般の部

優勝：鹿児島刑務所

二位：宇剣連

三位：始良剣連・興文館

みなさん

本を読んでいますか

(3) 竜門親子読書会

竜門親子読書会

代表 上城昌代

私たちの竜門親子読書会は、南日本新聞社が平成二年、なくなられた棕先生をしのんで「まつかぜ文庫」を、竜門小に寄贈くださったのを契機に発足しました。竜門小の児童はもちろんのこと、お父さんお母さん方にも、読書の楽しさをもっと広く深く知ってほしいとの思いからの出発でした。

活動としては、日常家庭で一分〜五分親子一緒に読み聞かせをしたり、一人読みをしたりして、本に少しずつ親しんでいくことをもとにしながら、月に一回例会をもつことにしています。図書館に親子で集まり、世話係が進行しながら、その月の家庭での親子読書の様子を気軽に発表し合ったり、話し合ったりします。その後、上級生による紙芝居を見たり、親による本の読み聞かせをします。最後に、家族それぞれに親が子に読み聞かせをして終わります。

私の家庭では、雑用に追われ、なかなかゆつくりと、子どもに本の読み聞かせをする時間をと

れないのが、悩みの一つでした。それで、子どもが幼稚園の時、親子読書会に入会したのでしたが、それによって、親子共々読書に関心をもち、子供と向かい合って、本を読む機会ができるのでは、と思ったからです。

ところが、親子読書会の活動をすすめることによって、多くのことを期待できることが分かってきました。

(一) 親も子も楽しい仲間づくりができる。ー今までに読んだ本についての話し合いやいろいろな活動を通して、子どもも大人もお互いに理解し合い、楽しい人間関係をつくること

ができる。

(二) 視野が広がる。ー読んだ本についての話し合いの中で、子供たちは同じ本でも年齢や性の違い、その人のおかれて

いる状況によって、いろいろな見方や考え方があ



たのしそうですね…

他の家庭での親子読書のすがたが分かり、読書への意欲がさらに高まり、読書が習慣化される。

このようにすばらしい効果が期待できる親子読書会活動ですが、最近、共働きの家庭が増え、親子読書は、ますます難しくなりつつある現状です。

しかし、私たちは二十一世紀に生きる子どもの真の幸せを願うならば、親子読書を忘れてはいけないと思います。続けなければならぬと思います。本を読むなかから生まれる感動によって、心の垢を洗い流し、すがすがしい気持ちで、新しい日々が始まることのすばらしさを、お母さんたちにわかっていただけたらと思います。

本十の鳩
(29)

やせ牛物語

「棕鳩十全集16」ポプラ社(一、〇〇九円)

「棕鳩十動物童話集15」小峰書店(一、二八〇円)

「やせ牛物語」昭和四十六年

この物語ははじまります。

三月に発表された作品。高学年向。棕先生は、この物語のあとがきに、次のように述べておられます。

「沖繩へ私は、何回か渡ったことがありますが。……その闘牛のなかに、日本内地から、つい最近やってきたという、横綱牛がいました。……あれほど名をなした横綱牛が、遠く売られてくるはずもあるまい。

……その老牛は、ほんとうにもろく負けてしまいました。あの時見た牛の姿が、長いこと、ほんとに長いこと、私の心にやきついて離れませんでした。そうして、私にこういう物語を、その老牛は書かせてしまったのです。」

作品名からみて、一頭の牛の物語と、とらえられますが、棕先生の眼は、やせ牛が苦勞しながら、闘牛として成長する過程を見つめながらも、これまでに大へん難儀をしている沖繩の人たちの重い歴史とかさね合わせておられるように思えます。

四国宇和島の大きな門がまへの農家に、ふとった子牛とやせた子牛が買いとられる場面から

宇和島は、闘牛の盛んなところで、ふとった牛(雲竜)は、その成長に多くの期待がかけられますが、やせた牛(「やせの花」)には、老いた牛飼いの八郎のあたたかいまなごしはあるものの、主人からは「肉牛にでも売ればいいわ。」と問題にされないのです。

二頭が飼われて一年半後、「雲竜」はたくましく育つもののわがままな牛となり、「やせの花」はすなおであるが、気が強く、体力の劣る点をわざと補うようになっていきます。

その後、土佐犬とのたたかい、八郎との別れ、「雲竜」との対決など多くのことを経て、徳之島半島のたたかいとなり、「やせの花」は、横綱の位をもらうことになります。

それから半年後、「やせの花」はリュウマチスを患うようになり、それが知らない沖繩の闘牛好きな人は、ぜひほしいと買いついていきます。

そして、沖繩の横綱牛と「やせの花」とのたたかいになります。

〔解説〕棕鳩十文学記念館

副館長 土田 眞資

加治木文化財ウオッチング(14)

うそめきの
獺貫の
疏水

隈姫神社入口に、池田助右衛門という人の頌徳記念碑が建っています。この石碑は加治木村民の寄付金で明治四十四年に建てられたもので、頌徳とは「その人の功績をほめたたえる」という意味です。

それでは、この碑文を参考に池田助右衛門についてご紹介しましょう。

もともと木田地区は、草深い水の乏しい荒地地帯でした。そのため、少しでも雨の降らない日が続くと、稲や苗は枯れ果ててしまい、農民は飢えに苦しんでいました。

この貧しい生活をみた助右衛門は、西別府の豊富な水を水路で木田の荒地地に流して水田に変えたいと考え、領主の島津忠朗に申し出ました。

万治二年、工事が始まりました。しかし水路を造るといつても、現代のように機械のある時代ではありません。すべて手作業でしなければなりません。なかでも、岩をノミとカナヅチで掘り抜く作業は大変な仕事でした。

最初は村人も手伝ってくれましたが、石が固くて作業は思う

ように進みません。また、わずかなばかりの工事費はすぐに底をつき、協力者はしだいに減っていきました。

でも、助右衛門は一人になっても、工事費がなくなっても作業をやめようとはしませんでした。滝に打たれ、工事の成功を祈願しながら、私費を使って来る日も来る日も作業を続けました。食べることも、寝ることも惜しんで岩にノミを打ち込んだといわれています。

このころ村民は、助右衛門のことを「気が狂った」といったそうです。

そうして、着工から三年七か月、ついに助右衛門の情熱は固い岩盤を突き破りました。水路四千九百尺、隧道(トンネル)二百十八尺、灌漑面積二百七十町歩という大土木工事をなしたのです。「精神一倒何事か成らざらん、おそろべき助右衛門の熱意」と記されたこの功績により、木田の農民は競うように開墾をはじめ、荒地地はみるみるうちに豊かな水田に変わっていききました。

それから三百年余り、今も獺貫の切り通しから落下する激し

い水の勢いは、あの頃の狂おしい助右衛門の情熱を具現しているようで、永久に木田の水田を満たしてくれることでしょう。

無料
人権法律相談

鹿児島県地方事務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。

お気軽にご相談下さい。

秘密は、固く守られます。

郡山政弘 木田一六一三一一
(03-3585)

中摩多美子 反土二七五六
(03-2768)

篠崎利治 木田四二四二
(03-5175)



親子映画鑑賞会

〔福祉センター〕
日時 2月12日(土) 14時
映画 ①山の小平太
②福は内! 鬼は外!
日時 3月12日(土) 14時
映画 ①小さな勇気物語

生きた議会を勉強

錦江小学校 六年生

生きた議会を勉強しよう」と
十二月二十一日、錦江小学校の六年生五十七人が第四回町定例議会の傍聴しました。

これは、新しい教育指針である「学力観」を養う教育の一環として行われたもので、この日は社会科の時間を利用して体験。児童らは各議員の質問や、それに答申する町当局との生のやりとりに目を輝かせて見入り、「たいへん参考になりました。議会のしくみがわかったような気がします」と、話していました。

児童らの目に議会の様子がどう映ったか……。その答えは、二十一世紀の議会で彼らがあきらかに



いろんな質問をするんだなあ…

②カエルの兄弟
〔樟嶋十文学記念館自由の館〕
日時 2月27日(日) 10時
映画 ①雪の下静かなお話
②泣いた赤鬼
③宇宙っ子の冒険
日時 3月27日(日) 10時
映画 ①腹ぺこ童子
②がんばれ五色桜
③ひなまつり
主催 加治木町親子映画会
※無料ですので児童・生徒・親子多数ご鑑賞ください。
(都合によりフィルムを変更することがあります。)

うぶ声



出生児 保護者
日高 梨沙 一美 自治会
日高 梨奈 一美 自治会
中島 大樹 慶夫 自治会
黒江 未来 義郎 自治会
岩崎 亜美 玄次 自治会
南 あやな 政治 自治会
榎蘭 太郎 泰明 自治会
中島みのり 秀弘 自治会
酒匂 英里 健司 自治会
徳寄 隆成 隆治 自治会
大迫 詞織 弘樹 自治会
梅木 美香 正芳 自治会
有村 莉南 裕二 自治会
中村 大地 忠史 自治会
下原みずき 淳 自治会
梅木 伶良 健次 自治会
米倉 大智 弘秀 自治会
南 拓磨 俊哉 自治会
濱田 未来 耕一 自治会
永元 美穂 国治 自治会
▽十二月二十日までに住民台帳に記載された分を掲載いたしました。

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。ごめい福をお祈りいたします。(一)内は故人

三万円 町社会福祉協議会へ

平成6年 2月在宅医表		
6	玉利医院	内科・皮膚科 加治木町本町118 ☎62-2328
11	加治木整形外科	整形外科 理学療法科 加治木町港町147-2 ☎62-3711
13	松元医院	内科 溝辺町有川231 ☎59-2823
20	壺岐内科	内科・小児科 循環器科 加治木町諏訪町196 ☎62-2222
27	佐藤医院	内科・小児科 溝辺町有川327-2 ☎59-2607

※診療時間は午前9時から午後5時まで。(原則として)
※当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。
日曜・祝日 歯科救急診療 10時~15時 郡歯科医師会館
口腔保健センター (0995-58-4388・溝辺町空港近く)

特別寄付

下新道 山下邦英(妻フジ子) 三万円
吉原 徳永實利(父 實八) 五万円
東諏訪 福岡宏隆(叔母 犬童博子) 五万円
須崎 郡山アヤ子(夫貞行七) 三万円
上嶽 樗木アヤメ(長男和則) 二万円
下新道 丸目フミ子(夫弘士七) 二万円
中央 高城 実(父 政七) 二万円
徳永 林 信子(父 徳部 静七) 五万円
新町 原口ムツ子(夫昭治六) 三万円
竹下 入部 薫(妹イツ子六) 二万円
始良町東餅田 郡山末春(父 輝明八) 三万円
百萬元(一般) 鹿児島市紫原六三六二二
佐藤ミキ子(故佐藤八郎夫人) 五十万円(一般)
東京都新宿区上落合一五
立山マサエ(東京加治木会) 五十万円(水害見舞金)
鹿児島市上之園町四一六 吉留建設産業(株) 代表 吉留益 (敬称略)